

さんぽ木だより

2016
夏号
vol.17

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

野いばらの花咲く道に
母を思う
かわるがわる
かついでいった
母のひつぎの
とわのわかれの
ふるさとの
山なかの
道を思う
苦難の一生を
慰めたたえ
はなむけの花束と
咲いてくれた
野いばらの香りをかいで
ははそはの母を思う



野いばら

館長エッセイ

【第十六回】坂村真民の生き方
「清貧」と「求道」と「愛」

真民詩とわたし

立派な師に逢えた私は、幸せ者です

河野 宣子 さん

真民詩を読み解く ⑩

恩を受けた母にやっと恩返しのできた喜び
「母を念^{おも}えば」

記念館からのお知らせ

平成28年度坂村真民記念館
ボランティアガイド養成講座・募集要項

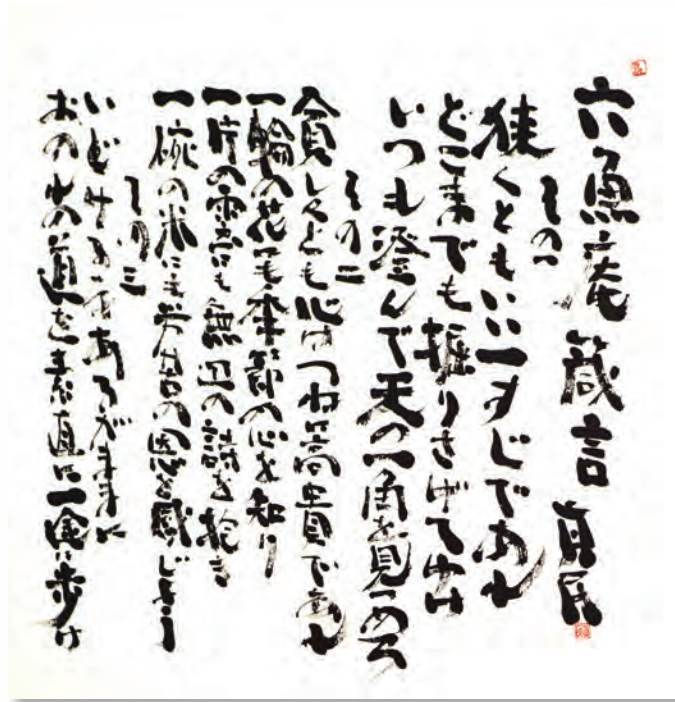
企画展のお知らせ

「坂村真民と二人の母」展

記念館おすすめの本

【第十七回】坂村真民の生き方

「清貧」と「求道」と「愛」



この「箴言」を常に心に留めて生きていたことを、身近にいた者としてずっと感じていました。40歳の真民が自分自身への戒めとして作ったこの「箴言」を、生涯守り通して死んでいったことに、私は真民詩の持つ重みを強く感じています。

今回は坂村真民の生き方の根底にある「清貧」「求道」「愛」について考えてみたいと思います。

私が「坂村真民の生き方」について考えるとき、まず浮かんでくるのが「六魚庵箴言」という詩です。この詩は、真民が42歳の時に出した第一詩集「六魚庵天国」の巻頭に収められた詩ですが、最晩年に至るまで真民が

真民の生活は、8歳で父親を亡くした時から貧しさとの闘いの連続でした。晩年になって少し楽な生活が出来るようになりましたが、真民自身の

生活は全く変わることなく「清貧」を貫いていました。また妻の支えと工夫により、子供たちも貧しさを感じることなく、心豊かな生活を送っていたことが、家族を詠った真民詩の中に表現されています。「貧しくても心豊かな生き方」を家族全員が共有していたことが分かります。

また真民が敬仰していた、一遍上人とマザーテレサの生き方からも清貧の生き方を常に学びとっていたことは間違いないと思います。

「求道」については、狭い意味での宗教においても、人間として生きる道という意味においても、真民の生き方は「独りの修行僧として自己を厳しく律して生きる」ことであり、「一本の道をこつこつと歩み続けた」人生でした。

真民は吉田時代に本格的に参禅をし、修行僧の生活と同じ生活をしたがら「仏の教え」を求めて深く自己を

掘り下げてゆく生き方を実践します。その時に杉村春苔尼先生との出会いがあり、春苔先生への思慕の気持ちが敬仰へと変わり、春苔尼先生を通して仏の教えを身につけてゆくことになりました。

宗教においても、詩作においても二つの道を求める姿勢を貫くことを、生涯怠ることはありませんでした。

最後に、「愛」については、真民詩の中心テーマでもある、家族の愛、人間への愛、そして、小鳥、路傍の草花、こおろぎや虫たちへの愛情こもった多くの詩がすべてを物語っていると思います。

こうした「生きとし生けるもの」へ限らない愛情を注ぐという真民の生き方は、真民詩を形作る土台であり、真民詩の真髄となつていると思います。

97年の坂村真民の生涯を振り返り、「坂村真民の生き方」を考えるとき、こうした生き方を支えていた精神の根本にあったものは何かと考えますと、それはやはり「仏の教えに少しでも近づきたい」という想いであつたと、私は思います。

立派な師に逢えた私は、幸せ者です

こうの よしこ
河野 宜子 さん(70歳)

宇和島市でブドウ農家をご夫婦で営む河野宜子さんは、宇和島東高時代の真民さんの教え子だった。『坂村真民全詩集』発刊を知り、卒業から20年あまりのちに再会。宇和島で真民詩を読み継ぐ「たんぽぽ会」の一員として現在も真民詩に向き合い、その魅力を広めている



◀宇和島・泰平寺で毎月開催される「たんぽぽ会」。西澤館長夫妻を迎えて



◆詩集刊行がもたらした再会

坂村先生は、ご自分の世界に浸って淡々と国語の授業を進められたように覚えています。体育会系の私はあまり熱心な生徒とはいえず、「髪の毛がふさふさした先生」という程度の印象でした。

ところが、昭和60年に『坂村真民全詩集』出版の知らせを新聞で見た時、「あの坂村先生！」とピンときて、すぐに本を求めました。むさぼるように先生の詩を読み、胸に響く優しい詩にすっかり心を奪われたのです。

◆多くの人と心通わせた「朴庵例会」

平成2年に始まった「朴庵例会」には、高校の同級生3人と連れ立って参加しました。長年病床にあった姑を見送り、子育ても一段落したところでしたが、ブドウ作りもせわしく、まさに「万障繰り合わせて」の例会参加でした。

そのような状況でしたので、「悲しみや苦しみを抱きつつも、心の持ち次第で平安な人生が送れる」という先

◀134番碑は宇和島を一望できる愛宕公園に建つ



生の言葉は心に沁みて、私を支えてくれました。

真民先生は「酉年」「二白水星」で、私と同じです。不思議な

ことに、会場には同じ星の下に生まれた人が多数おられ、話が弾みました。

◆「たんぽぽ会」で詩碑3基を建立

平成元年頃に、宇和島で真民詩を読む会「たんぽぽ会」が発足。主宰の平岡英樹さんは高校時代に先生の薫陶を受けて国語教師となった方です。

泰平寺で全詩集を読み継ぐ月例会は、そろそろ30年を迎えます。会員は10名ほどで、現在、ようやく6巻目に入りました。「長生きせんと、最後の8巻までいかんで」と笑い合いながら、とにかく丁寧に先生の詩の世界を味わっています。好きな詩は「ひとりひそかに」「良い本を読め」「あとからくる者のために」「老いること」など。

同会では、平成2年の134番碑を最初に、海蔵寺(吉田)の165番碑、泰平寺の720番碑と、3基の詩碑を

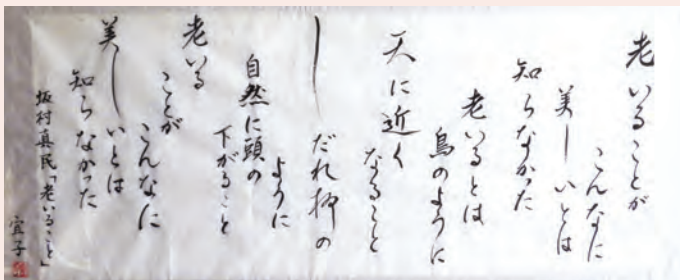
建立しました。

◆伝承者として先生の心をつなぐ

私が大切に行っているものに「念ずれば花ひらく」の守り札があります。スクーターで転んだり、池に落ちたりした時に軽いケガですんだのも、守り札のおかげです。お札を畑に吊ると、ブドウもよく実るんですよ。

一生のうちに立派な師に出会うことができたのですから、幸せ者です。私には4人の子と9人の孫がおりますが、「念ずれば花ひらく」の心をもつて、好きな道で羽ばたいて、幸せになってほしいと祈ってきました。皆、それぞれの道を歩んでいます。

私は今、真民先生の思いを皆さんに伝えるため、自宅の居間に先生の作品を展示して、友と楽しく語らっています。



▲最近好きになった真民詩「老いること」を自筆。
河野さんは俳句結社「百鳥」でも活躍中

恩を受けた母にやつと恩返しのできた喜び

「母を念^{おも}えば」



母を念^{おも}えば

母を念^{おも}えば
どんな苦勞も
じつと耐え
生きる力が
わいてくる

母を念^{おも}えば
手足の爪も
母のいのちの
こもるもの

母を念^{おも}えば
鳩寿過ぎても
子供なり
賞の喜び
あの世にひびけ

この詩は平成15年、真民が94歳の時に書かれたものです。この詩の背景には二つの出来事があります。

一つは、石川洋先生のご尽力により初めて「母念」の碑が淡路島の八浄寺に建立（平成15年11月26日）されることになったこと。

もう一つは、熊本県から、「熊本県近代文化功労者賞」（平成15年11月5日）の受賞決定の知らせが来ていたこと。

この二つのことを念頭に置いて、母を念^{おも}う真民の喜びの気持ちが表れた詩なのです。

8歳の時に父を亡くし、それから母と共に苦勞を重ねて生きてきた真民にとって、母は誰よりも一番大きな恩を受けた人であり、母への恩返しをするために

コツコツと詩を作り続けてきたのです。そういう真民にとって、詩を作り続けたその功績に対して郷里の熊本県から贈られる賞は、「一世一代の母への恩返し」であつたのでした。

そのことを真民は、詩国496号（平成15年10月発行）の後記で、「熊本県教育庁からの突然の知らせで、このような賞を頂き、母への恩返しのできた。長生きしたおかげだと、神仏に感謝し、明かりをともしとお礼を申した。」と書いています。

さらに、この号の巻頭の詩「熊本県近代文化功労者賞を頂く」でも、「わたしは母が望む人間にならず、世捨てびとのような、西行、芭蕉の道を行く人間となり、母には本当にすまなかつたが、やつと恩返しのでき、母の位牌の前に供え、お礼を申す」と書いています。

また、母念の碑についても、「母念」という詩の中で、「母念とは、母を思うことです。父母恩重経には、母の乳を飲むこと、一百八十斛とある、母の乳が、手足の爪となり、体を作つてゆくのです。」と書き、詩国499号（平成16年1月発行）の後記では、「母念第一号碑ができたことは、わたくしの長い人生において、特記すべきことで、発願して下さった石川洋様に衷心からお礼を申しあげます。母はお大師さまの信仰者でして仏壇にも、お大師さまの像を特別置いていましたので、高野山ゆかりの八浄寺に、母念の碑ができたのを、どんなに喜んだらうと、（中略）しみじみと胸熱く碑を見つめていました。」と書いています。

どちらも、母への恩返しをやつとできたことを本当に喜んでいいることが分かります。

6月11日から始まる「坂村真民と二人の母展」では、この母への真民の思いともう一人の母（杉村春苔尼先生）への思いを詠った詩、二人の母からの460通を超える手紙、二人の母を念^{おも}う真民の日記の言葉等を展示公開する予定です。どうぞ多くの皆様のご来館を心からお待ちしております。

真民詩を
学びながらボランティアガイドをして
豊かな心の世界を見つけませんか平成28年度坂村真民記念館
ボランティアガイド養成講座・募集要項昨年に引き続き、今年も記念館のボランティアガイド養成講座を開講します。
要項は下記のとおり。あなたもチャレンジしてみませんか。

受講無料

受講期間 平成28年
9月9日(金)～12月9日(金) [全9回]**定員** 25名程度(先着順)
受講決定者には、記念館より「決定通知」をお送りします。**場所** 坂村真民記念館
会議室**募集期間** 平成28年
7月1日(金)～9月2日(金)**募集受付** 希望者は、電話かメールで申し込みください。
メールの方は、氏名、住所、年齢、性別、電話番号を
記載してお送りください。
〈電 話〉089-969-3643
〈メール〉info@shinmin-museum.jp
問い合わせ先 TEL089-969-3643(坂村真民記念館)修了者には修了証書を授与し、平成29年1月から1日4時間を月に2～3回程度
ガイドしていただきます。最初はベテランのガイドさんと一緒にいき、慣れてから
1～2人でガイドします。現在38名の方が活動されています。
(30代から80代まで幅広い方々が
いらっしゃいます。)講座を修了し、
現在ボランティアガイドとして
活躍されている方々の声

- 来館者の方から質問を受け、館長に
聞いたり、自分で調べていく中で、自分
が知らなかった真民さんのことが良く
分るようになった。
- 来館者の方が熱心なファンで、色々と
教えてもらうことが何度もある。
- 来館者の方と話をすることにより、自
分自身が成長することに気付いた。

講座概要・日程表

回数	日 時	講 座 内 容	講 師
1	9月 9日(金) 10:00～12:00	開講式 坂村真民の生涯(1)	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
2	9月16日(金) 10:00～12:00	坂村真民の生涯(2)	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
3	10月 7日(金) 10:00～12:00	坂村真民の人生と詩について(ビデオ鑑賞)	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
4	10月14日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(1) 三瓶・吉田時代	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
5	11月 4日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(2) 宇和島時代	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
6	11月11日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(3) 砥部時代	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
7	11月18日(金) 10:00～12:00	家族にとっての坂村真民	長女 田中 梨恵子 三女 西澤 眞美子
8	12月 2日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(講義)	坂村真民記念館館長 西澤 孝一
9	12月 9日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(実習) 修了式	坂村真民記念館館長 西澤 孝一

「坂村真民と二人の母」展

平成28年 6月11日(土)～10月16日(日)

坂村真民には生みの親である坂村タネと、心の母となる杉村春苔尼という二人の母がいました。この企画展では、真民の人生とその詩に大きな影響を与えた二人の母について、これまで公開されていない資料や写真等を使って、人となりを明らかにし、真民詩に与えた影響について詳しく解説・展示する予定です。



生みの親タネと



敬愛した杉村春苔尼と

母よ

伊予(愛媛)のひと
芭蕉の母を知る
道元禅師の母
伊予を知る
母の恩を忘れるな
私の母は二人ある
産んで下さった母と
大詩母さまとして
拝んでいる
杉村春苔尼先生
ああ
母よ母よと
大きな息をして
大海を泳ぐ
海の王者の鯨よ
(真民94歳)

坂村真民と二人の母展・ミニ講演会、ギャラリートークのお知らせ

開催場所／講演：記念館会議室(定員35名、先着順)
ギャラリートーク：展示室(定員30名、先着順)

講師／坂村真民記念館 西澤館長

- 6月12日(日) ミニ講演(11:00～12:00)
ギャラリートーク(13:30～14:00)
- 7月10日(日) ミニ講演(11:00～12:00)
ギャラリートーク(13:30～14:00)

- 8月11日(日) ミニ講演(11:00～12:00)
ギャラリートーク(13:30～14:00)
- 9月11日(日) ミニ講演(11:00～12:00)
ギャラリートーク(13:30～14:00)

記念館おすすめの本

『二度とない人生だから、今日一日は笑顔でいよう』

著者／臨済宗円覚寺派管長 横田南嶺



「死のうと思ふ日はないが、生きてゆく力がなくなることがある、そんな時、大乘寺を訪ね、わたしはひとり、仏陀の前に坐ってくる、力なき明日を思う心が、出てくるまで坐っている」という坂村真民の詩と、高校生の時に出会い、それからずっと禅の厳しい修行のなかで、常に心の支えとして真民詩を読み続け、円覚寺(鎌倉)の管長に就任された後も、毎月の法話で坂村真民の詩を語り続け、真民詩の魅力を全国に向けて広めていただいている、横田南嶺老師の「真民詩のやさしい解説本」が出版されました。

難しい禅の言葉ではなく、だれにでも分かる「人間としての優しさと慈愛に満ちた」言葉で書かれたこの本は、真民詩をこれまで読んだ事の無い人にも格好の「真民詩の入門書」となっています。

さらに、真民詩を深く読まれている方々にも、十分読み応えのある本となっています。例えばこの本には、真民詩が全部で39篇収録されていますが、「全詩集」にしか載っていない詩が10篇あります。厳しい禅の修行をされた方の眼にとまる詩であり、そういう眼を持った方でないとは選べない詩です。私も初めて知った詩もあります。

そして各章にちりばめられている、横田管長と円覚寺を訪れる様々な悩みや思いを持った方々との「交流のエピソード」は、生きる悲しみや苦しみを抱えて生きている人に、きっと生きてゆく希望と勇気をもたらしてくれると思います。

坂村真民記念館おすすめの一冊。どうぞお読みになりお友達にも薦めてください。きっと喜ばれることまちがいなしです。

発行／PHP研究所
定価／1,200円(税別)



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

砥部の地で、医療、看護、介護の三位一体を実現する砥部病院



介護付有料老人ホーム To-be

78居室/20㎡~24㎡(1F&2F)

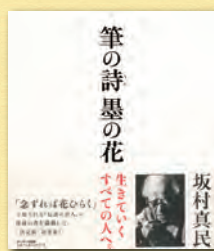


住宅型有料老人ホーム
モンレーヴ砥部

18居室/2LDK 40㎡~90㎡(3F)

伊予郡砥部町麻生51-1(砥部病院横) TEL.089-969-0085 砥部病院ケアサービス株式会社

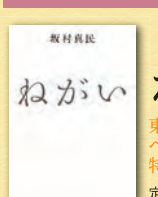
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=本体3500円+税

筆の詩墨の花

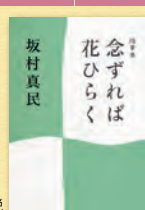
サンマーク出版



随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=本体各1800円+税

坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=本体各1000円+税



刊行から18年、
10万部突破の
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

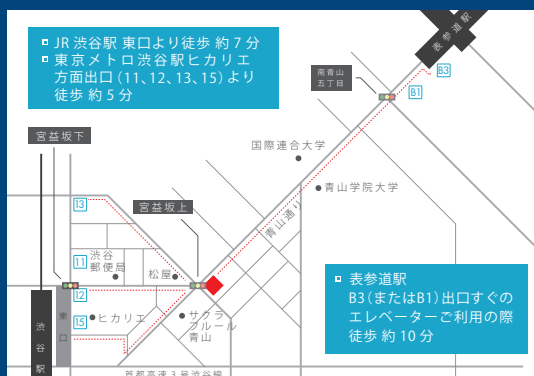
いま届けたい、生き方の道しるべ

時代先駆の歯科医療グループ 新たな舞台 徳真会 QUARTZ TOWER

東京都渋谷区渋谷、青山通り宮益坂上交差点に、
質の高いおもてなしと信頼できる医療を施す
総合メディカルビルがオープン。

Floor Guide

9-12F	クオーツギャラリー (貸しホール、貸し会議室)	9:00~21:00 (応相談)
8F	医療法人 徳真会 クオーツメディカルクリニック 内科・整形外科・皮膚科 (予約制)	10:00~14:00 15:00~19:00
7F	医療法人 徳真会 クオーツデンタルクリニック (完全予約制・全部門専門医担当)	10:00~19:00
6F	クオーツキッズルーム (タワーご利用者さまのみ無料)	9:00~17:00
4-5F	医療法人 玄徳会 青山クオーツデンタルクリニック (一般医) 一般歯科 (専門医) インプラント、矯正歯科、小児歯科、歯周病治療、 歯内療法、口腔外科、健康・スポーツ歯科	9:00~21:00
3F	医療法人 厚徳会 クオーツホワイトデンタルクリニック (ホワイトニング) クオーツビューティ (エステ・ネイル)	10:00~20:00 10:00~21:00



〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-10
TEL: 03-6362-6688 (総合受付)
クオーツタワー 検索 www.quartztower.com



医療法人
徳真会グループ



坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の
会は、会員の皆様と記念
館との交流を図り、記念館
を共に支え、育てていくこと
を目的とした会です。入会
された方には会報と、真民
グッズなどの記念品を贈呈
します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください 坂村真民記念館 友の会 検索

〔編集後記〕次の企画展をどうするか。それを考える時の中心にあるのは「坂村真民の生き方」です。真民詩を多くの人々に理解していただくために、真民の生き方を知っていただき、それが真民詩にどう影響しているのかを、様々な角度から解明し、それを皆様に分かりやすくテーマを決めて、丁寧に展示することが大事だと思います。次のテーマをどうするか、その展示構成をどうするかを考えながら日々格闘しています。(西)

タンポポだより vol.17 春号

平成28年6月1日発行 表紙写真：西澤孝一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、
小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり